



## 災害時への備えの大切さを改めて！

### 講演会「災害時への心得について ー防災・減災のためにー」

7月6日(土)午前10時より、主催：日新婦人会、共催：日新地区自主防災連絡協議会、福井市赤十字社奉仕団日新分団で行われました。講師は、日本赤十字社福井県支部 山本裕行氏、参加者は50名でした。



山本氏は、これまで様々な被災地に足を運んでおられ、被災者の気持ちや避難所の様子について、その場に行った人にしか分からないことを語っていただきました。

以下、お話の内容の一部です。

- ・東日本大震災の津波で家族が目の前にいたのに救えなくて「死にたいわの。」と言っている方に「頑張ってください。」とはとても言えなかった。
- ・高台に避難した17歳の女子高生が、流される我が家の2階にいる母親に向かって叫んだ言葉を皆さんは何だと思えますか。それは、「ごめんね。」「大好きだよ。」でした。
- ・650人が避難して、1週間、自衛隊、消防も来ない所があった。そこでその人たちは校庭に石灰でSOSを書いて知らせようやく救助された。
- ・避難所での医療は、通常の「診察時間を設ける」や「待合室では静粛に」などではなく、私たちは、被災者の皆さんの不安や都合のことを考えて、「待合室では楽に過ごしてください」、「診察にはいつでも来てください」という対応をとった。
- ・福井市での避難訓練のときに、だらだら喋りながら参加する人もいるがそれは改めないといけないと思う。
- ・東日本大震災の数日前に小さな津波があった。それで油断していて被害が大きくなった面もある。予想を超えたことが起こるかもしれないと考えてほしい。
- ・自助、共助、それから公助になるが、公助が遅くなることがある。自分でできる備えはするとともに、近所の人たちとのつながり、仲間意識、助け合う気持ちを普段から大事にしてほしい。

令和6~8年度日新地区のテーマ  
“住みよい日新 繋げよう次世代へ”

## おめでとうございます！

第75回市民スポーツ大会軟式野球競技において日新地区が優勝しました。



〈選手一同〉「暑期中、応援いただきありがとうございました！」



※本大会は、5月25日~7月26日に30種目で実施されました。日新地区からは、軟式野球の他に、ソフトバレーボールシルバー、バドミントン男女、卓球、ゴルフ、マレットゴルフに出場しました。

### 9月9日(月)は「救急の日」

正しい119番通報！適正な救急車の利用をお願いします！

急を要しないにも関わらず救急車を呼ぶ人が多いと、命に関わる重篤な方への到着が遅れてしまいます。けがや病気などで本当に救急車を必要とする人のためにも、救急車の適正利用にご協力とご理解をお願いします。《お問い合わせ先》福井市中消防署【Tel.22-0119】



### 日新の人口推移 (令和6年7月1日現在)

男 2,733人(-5) 世帯数 2,649(-5)  
女 2,735人(-4) 高齢化率 28.47%  
計 5,468人(-9) 後期高齢化率 15.78%

### 日新地区犯罪発生状況

福井警察署令和6年6月末統計(今年の累計)  
・空き巣…0件 ・車上狙い…0件  
・自転車盗…13件 ・オートバイ盗…0件  
・その他の窃盗関係…5件 ・器物損壊…0件  
・その他の刑法犯関係…5件

●地区内合計…23件

| 日  | 曜日 | 祝日 及び 休館日 | 令和6年9月の主な活動予定                 |                                   |
|----|----|-----------|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1  | 日  |           |                               |                                   |
| 2  | 月  | 休館日       |                               |                                   |
| 3  | 火  |           | 10:10 ~ 10:50                 | 図書室整理 (返却・貸出等は可)                  |
| 4  | 水  |           |                               |                                   |
| 5  | 木  |           | 9:30 ~ 10:00                  | 太陽がん検体回収 (玄関ロビー)                  |
| 6  | 金  |           |                               |                                   |
| 7  | 土  |           | 10:00 ~ 19:00                 | 婦人会定例理事会<br>自防連協月例会               |
| 8  | 日  |           |                               |                                   |
| 9  | 月  | 休館日       |                               |                                   |
| 10 | 火  |           | 9:30 ~ 11:30                  | 社協会議                              |
| 11 | 水  |           |                               |                                   |
| 12 | 木  |           | 10:00 ~ 12:00                 | さんさん映画会 (まちづくり交通部会)               |
| 13 | 金  |           |                               |                                   |
| 14 | 土  |           | 9:30 ~ 10:00<br>10:00 ~ 13:30 | 日新子ども教室<br>保健衛生推進員<br>パソコン・スマホ相談会 |
| 15 | 日  | 休館日       |                               |                                   |
| 16 | 月  | 敬老の日      |                               |                                   |
| 17 | 火  | 振替休館日     |                               |                                   |
| 18 | 水  |           |                               |                                   |
| 19 | 木  |           | 10:00 ~ 12:00                 | いきいきライフセミナー (通年事業)                |
| 20 | 金  |           |                               |                                   |
| 21 | 土  |           |                               |                                   |
| 22 | 日  | 秋分の日      | 8:00 ~ 9:30<br>9:30 ~ 11:30   | 底喰川定例清掃<br>まちづくり環境部会企画推進会議 (予定)   |
| 23 | 月  | 振替休日      |                               |                                   |
| 24 | 火  |           | 10:00 ~ 12:00                 | 健友会班長会                            |
| 25 | 水  |           |                               |                                   |
| 26 | 木  |           | 10:00 ~ 12:00                 | さんさん映画会 (まちづくり交通部会)               |
| 27 | 金  |           |                               |                                   |
| 28 | 土  |           | 9:30 ~ 13:30<br>13:30 ~ 16:00 | 日新子ども教室<br>パソコン・スマホ相談会            |
| 29 | 日  |           |                               |                                   |
| 30 | 月  | 休館日       |                               |                                   |

この他に 日新ボラネットの活動として以下のものがあります。

- ・地区各種事業記録写真…田中和昭氏、内田久美子氏
  - ・児童館のおはなし会、読み聞かせ (9月予定：11日(水)午後4時から)
  - ・底喰川高水敷随時清掃…まちづくり実行委員会有志他
- ※パネル写真(館内掲示)の提供…田中和昭氏(ハツ島町)

### 【日新デイホームの案内】(社会福祉協議会)

ハツ島会館 9月11日(水) 9:30より受付開始  
日新公民館 9月11日(水) 13:00より受付開始  
ひまわり児童館 9月18日(水) 9:30より受付開始  
乾徳ふれあい会館 9月18日(水) 13:00より受付開始  
健康マージャン会(公民館)  
9月13(金)、27日(金) 13:00より受付開始

日新公民館のLINEのQRコードです。  
いろんな情報を発信してまいります。  
ご登録お願いいたします。



## 日本の避難所について

日新公民館長 廣瀬行雄

表面記事「災害時への備えの大切さを改めて！」の講演をお聞きしたときに、避難所の環境改善の必要性も痛感させられたところです。

ちなみに本紙2月号(2月15日発行)で「能登半島地震の避難所や災害対応について」と題する記事を掲載いたしました。

その直後2月27日付福井新聞5面「衆院予算委論戦のポイント」に以下の記事がありました。

### 【能登半島地震】

**石破氏** 避難所は体育館に雑魚寝状態で100年前と変わっていない。

**首相** 人間らしい生活を確保するのが重要だ。国際的な取り組みを参考に不断の見直しを行う。

2月号の記事の内容と重なるように感じたのでその時の実際の審議内容を調べたところ以下のように、スフィア基準やイタリアの避難所の状態など重複している点がありました。避難所についての一つの参考資料としてご一読いただければありがたいです。(今月号の紙面に余裕がありましたので掲載いたしました。)

### 令和6年2月26日 衆議院予算委員会

**石破氏** 総理、避難所のご訪問誠に苦勞様でありました。総理がご覧になった通り、現場では今なお多くの方々が避難所で生活をしておられます。大変なことだと思っております。去年は関東大震災から100年でありました。避難所の在り方ってのはもちろんいろんな改善はなされているけれど、あの体育館に、言葉を選ばずあえて言えば雑魚寝の状態であるということは、基本的には100年前と変わっていないのではないかと考えております。

スフィアハンドブックってのがありましてね。これはNGOとか国際赤十字とか赤新

月社、そういうものが作った避難所のあり方等々のガイドラインのようなものであります。このものすごい大部なものであってね。私はまだ全部全く読めていないのだけれども、これに何と書いてあるんだろうかと。そこにおいて、健康で良好な環境を得ると、これは避難所で暮らす人たちの権利なのであるというふうに書かれている。そこにおいて1人当たり確保されるスペースとか、トイレの数とか、男女別にきちんと分けられることとか、そういうことが事細かに書いてあって、これを求めるのが避難所で暮らす人たちの権利である。そしてまた権利があるからには誰かがそれに応える義務が必要ですよ。第一義的にそれは国家の義務であるというふうにこの人道憲章には書かれております。

災害対策基本法によって避難所の設置運営は自治体の自治義務、市町村の自治義務というふうに定められておりますね。もちろん政府もこのスフィアハンドブックってのは承知しているいろいろなガイドライン等々に言及もあります。総理がご覧になった通りそういうようなあるべき姿というものが実現されている避難所はそんなに多いとは思わない。ここをどう考えるかです。我々はいつかは首都直下型地震に見舞われるだろう、そしてまた南海トラフに見舞われるだろうと言われております。それまでにできる限り避難所のあり方、そういうものを整備していかねばなりません。

イタリアで、イタリアも地震国ですよ。イタリアで地震が起ると、じゃ何が行われるか。早ければ即日、48時間以内にコンテナトイレがやって来る。そしてテントがやって来る。キッチンカーがやって来る。ベッドがやって来る。ということなんだそうあります。そして避難所にはキッチンカーがやってきて、事前に登録したボランティアのシェフの方々がやってきてイタリア

料理のフルコースが出るそうなんです。ワインも出るそうなんです。何て贅沢なんだというふうに考えるかも知れないが、家族も犠牲になった、家も壊れてしまった、仕事もどうなるか分からない、ある意味絶望の淵にある人たちを励ましていくためには、そういうものが必要なんだという考え方があります。で、キッチンカーがいくら、テントがいくら、段ボールベッドは1つ一万円くらいのもなんだそうですね。そういうものをイタリアにおいては全人口の0.5%、地震の蓋然性が高いシチリア地方にはその地域の人口の3%分の備蓄というものが行われているそうでもあります。だからそういうことが可能になるということだと思えます。

私はこういう整備というのは必要ではないかと思っておりますが、そういうものをじゃ一体どこの予算でやるんだということになる。大災害があるたびに予備費であり、補正予算であり、あるいは特別措置法であり、これが今の日本の政府のやり方であると、私もそのようにやってきた。しかしながらこれから先の地震というものを100%防ぐなどとは出来るはずがない。そういう場合どういうふうにやっていくかということを整備化するという事は必要なことだと思っております。総理のご所見を受け承りたいと存じます。

**岸田首相**：まず避難所の環境整備を進めることによって自分らしい、そして人間らしい生活を確保するこうした取り組みが重要である。これは言うまでもありません。

そしてご指摘のスフィア基準であります。これについてもこの内閣府における避難所運営ガイドラインの中にあっても参考にすべき国際的な基準であるという形で紹介をし、自治体の取り組みを促している、こうした形でスフィア基準についても我が国として大いに参考にしている、こういった

現状にあります。

そして委員ご指摘のように避難した際に、まず住民の方々に最も身近な立場にある自治体が避難所を運営するわけでありますが、その避難所を国としてどれだけ支援をすることができるのか、こういった体制で被災した際の取り組みを進めていく、これが現状であります。今回も物質的あるいは財政的な支援と合わせて各自治体間で応援要員を動員する、融通する、こういったことについても国としてしっかり取り組みを進めていく、こういったことを行った次第ですが、おっしゃるようなこういった体制ですとか、状況については不断の見直しが必要である。これはご指摘の通りだと思えます。

今後ともスフィア基準はじめ国際的な取り組みも参考にしながら我が国の体制についても不断の見直しを行っていきたいと考えます。

**石破氏** ぜひよろしく願いいたします。こういうことはきちんとしたスケジュールに乗っ取ってやっていかないと間に合わないということが起こりかねませんので。例えばアレルギーを持った人がいる。じゃアレルギーを持った人にそれにふさわしい食事を提供するという事は大事なことだと思えます。女性のプライバシーをきちんと確保するという事も大事なことだと思っております。それを求めることは避難者の権利であり、それに一義的に応えるのは国家の責任であるということであらためて私は思うものであります。

### お詫び

先月号で以下の2点の記述が抜けておりました。

- ・7月号表面右の、敬老会・公民館まつりの記事で、実施日は10月20日(日)です。
- ・同裏面の、交通安全協会の受賞場所は、自治会館でした。